

ご存じですか？



早ければメス猫は生後4ヶ月、オス猫は生後8ヶ月ほどで、
繁殖行動をおこなえるようになり、
猫の妊娠期間は2ヶ月ほど(65日前後)と短く、
一回の出産で4～8頭の子猫を産みます！

不妊・去勢をすることで

- ◇望まない妊娠がなくなる(オスはメスを妊娠させることがなくなる)
- ◇鳴き声、マーキング、ケンカなどの発情期特有の困った行動がなくなる
- ◇繁殖期の心身のストレスがなくなる
- ◇生殖器関連の病気のリスクが低くなる
- ◇様々なリスク軽減することにより、寿命が延びる など、メリットがあります

一般的には、初回発情前(生後6ヶ月程度)に、
不妊・去勢手術を受けさせるのがよいとされています



通常どの動物病院でも、相談当日に手術を受けさせることは難しく、
又、同じぐらいの月齢の猫の手術を検討する方で、手術予約が混雑する時期もあります
遅くとも1ヶ月前には、行政・動物病院などに相談、手術日程の予約を考えましょう

尚、既に出産した場合は、子猫が生後2ヶ月になるころ
(母猫がいなくても、ある程度自分で食事を摂れるようになるころ)には、
母猫の次の妊娠が可能になります
産後2ヶ月頃に不妊手術を受けられるよう、子猫の成長を見ながら早めに行動しましょう

ちなみに。。。

犬に不妊・去勢手術を受けさせる時期や、妊娠期間もほぼ同じです
犬の場合は猫以上に、不妊・去勢手術をすることで、生殖器関連の病気の予防になります
屋外飼育の場合は勿論、室内飼育の犬にも不妊・去勢手術を受けさせましょう

不妊・去勢手術をすることで防げる病気は、

- ◇メス・・・子宮蓄膿症・乳腺腫瘍・卵巣腫瘍など
- ◇オス・・・精巣腫瘍・会陰ヘルニア・前立腺疾患など

初回発情前に手術を受けさせる事により、高い確率で病気の発症を防ぐことができます
(発情後であっても、手術することは大切です)



猫や犬が増えてしまったからと山林の中や猫が増えている家や畑などに捨てることは、
いかなる理由があっても、決して許されません **犯罪行為**です
購入した場合だけでなく、譲ってもらったり、保護して飼い始めたら、手術の計画をしましょう